

日本財政学会第78回大会の ご案内と報告募集

開催日：2021年10月23日（土）・24日（日）

会場：立命館大学大阪いばらきキャンパス B棟・C棟 または Zoom によるオンライン開催
キャンパスマップ・フロアガイド：<http://www.ritsumeai.ac.jp/file.jsp?id=229844&f=.pdf>

プログラム委員会

平岡和久*（立命館大学）、林宏昭*（関西大学）、赤井伸郎（大阪大学）、足立泰美（甲南大学）、
上村敏之（関西学院大学）、亀田啓悟（関西学院大学）、川勝健志（京都府立大学）、
川瀬光義（京都府立大学）、木村真（兵庫県立大学）、後藤和子（摂南大学）、
菅原宏太（京都産業大学）、杉浦勉（関西大学）、田中宏樹（同志社大学）、西村幸浩（大阪大学）、
松田有加（滋賀大学）、三宅裕樹（京都府立大学）、諸富徹（京都大学）、吉弘憲介（桃山学院大学）
* 委員長

大会実行委員会

森裕之*、平岡和久、岸道雄、坂西明子、森知晴、河音琢郎、篠田剛（以上、立命館大学）
松本睦（名古屋大学）、藤井えりの（岐阜協立大学）、江成穰（松山大学） * 委員長

大会に関する問い合わせ先

〒170-0002 東京都豊島区巢鴨 1-24-1-4F

（株）ガリレオ 学会業務情報化センター内 日本財政学会事務局

Email: taikai.jipf@ml.gakkai.ne.jp

1. 第 78 回大会までの主な日程

1.1 開催形態の決定時期について

本大会は対面形式での実施を目指していますが、新型コロナウイルスの感染状況次第では Zoom による Web 開催となる可能性もあり、現在開催形態を検討中です。開催形態は 5 月中旬頃に皆様にお伝えさせて頂く予定となっております。

1.2 報告申込について

日時	報告申込
4 月 5 日(月) 10 : 00	受付開始
5 月 7 日(金) 必着	*非会員の入会申込締切
5 月中旬	開催形態決定・アナウンス
5 月 21 日(金) 17 : 00	受付終了
7 月下旬	プログラム確定
8 月 20 日(金) 17 : 00	報告要旨提出締切
9 月 6 日(月) 17 : 00	学会奨励賞応募論文提出締切
10 月 1 日(金) 17 : 00	報告論文アップロード締切
10 月 23 日(土) 24 日(日)	大会

第 78 回大会の報告申込は、学会業務情報化システムを活用したオンライン申込です。会員 ID とパスワードを使って申し込んでください。ID もしくはパスワードが不明な方は、学会事務局までお問い合わせください。登録された会員情報に変更が必要な場合、「会員情報管理システム」にアクセスして、会員情報を修正してください。このお知らせ以降、大会に関する情報は会員原簿に記載の電子メールアドレスへ送信されます。郵送でのお知らせはありませんので、常時見られるメールアドレスをご登録ください。

1.3 参加申込及び懇親会について

今大会の参加申込については、5 月中旬にアナウンスを行います。またその際に、対面開催の場合の懇親会についてもアナウンスを行いますので、参加をご検討中の皆様は今しばらくお待ちください。

2. 報告申込

本大会は、会員の報告申込による「一般セッション」及び「企画セッション」、ならびにプログラム委員会が企画・依頼する「全体シンポジウム」・「特別セッション」から構成されます。「一般セッション」及び「企画セッション」は、1つのセッションにつき3～4報告論文を原則とします。

「一般セッション」及び「企画セッション」における報告希望を下記の要領で募集します。大会中に同一会員が報告できる論文数は1本とします。ただし、当日報告（質疑応答を除く）のために登壇しない共同報告者には本数制限はありません。

2.1 申込受付期間

報告申込期間は、4月5日（月）10：00～5月21日（金）17：00です。以下の「大会報告申込システム」からお申し込みください。期限を過ぎての申込はできませんのでご注意ください。

大会報告申込システム URL：<https://service.gakkai.ne.jp/society-member/auth/public/JIPF>

2.2 申込時に必要な事項

申込の際は、以下の項目を入力していただきます。あらかじめそれぞれの記入事項を用意いただくと入力がスムーズです。会員IDとパスワードでログインした後、指示に従って入力してください。

① 論文タイトル

② 論文報告者氏名

* 報告に関与する研究者のうち、プログラムに氏名が記載される報告者は、共同報告者も含めて、全員が日本財政学会員であることが必要です。共同報告者の定義については、2.5【共同報告者について】を必ずお読みください。

**共同報告者がいる場合、全員の氏名を明記してください。

③ 希望討論者（必ず記すこと [第2希望まで]。所属とメールアドレスが必要）

* 希望討論者については、学会員でない方を挙げることもできます（ただし、システムでは非会員の氏名を登録できないので、学会事務局へご連絡ください）。

**非会員を討論者として希望する場合は、以下の点に従ってください。

○報告者自身が希望討論者からの内諾を得てください。その際、交通費や宿泊費は学会から支給されないことをお伝えください。

○希望討論者の正確な所属先及びメールアドレスを学会事務局へご連絡ください。

④ 概要(200字程度)

⑤ 関連分野・手法の分類（次ページ選択肢から選択）

⑥ 開催形態に伴う報告の意向

* 今大会は現時点で開催形態が不確定であるために、開催形態に伴う報告の意向を以下の3つの選択肢から伺います。

ア. 対面・Web どちらの形態でも報告を希望 イ. 対面開催の場合のみ報告希望

ウ. Web 開催の場合のみ報告希望

<分野番号 (3 つまで) >

1. 財政政策	2. 公共財 (公共支出)	3. 公共資本 (公共投資)	4. 公債
5. 税制一般	6. 所得税	7. 消費税	8. 法人税
9. 社会保障	10. 地方財政	11. 環境	12. 労働
13. 教育	14. 外国財政	15. その他	

<手法番号 (2 つまで) >

a. 理論分析	b. 数値分析	c. 実証分析	d. 学説史・思想
e. 歴史的考察	f. 制度的考察	g. 事例研究	h. 国際比較

2.3 仮入会による報告申込について

申込時点で非会員の方が報告を希望する場合、まず仮入会手続きを行ってください。

ステップ 1

日本財政学会ウェブサイトから入会申込書を入手してください。申込書に必要事項を記入し、推薦者の直筆の推薦文とご署名・ご捺印をいただき、研究業績・掲載誌など記入漏れのないようご確認いただいたうえで、学会事務局に送付してください。

※ステップ 1 (入会申込書の学会事務局送付) は、5月7日(金) [必着] までに行ってください (学生の方は学生証の写しも必ずお送りください)。報告申込締切り直前の入会申込は受け付けません。なお、入会申込及び報告申込は常任理事会及び大会プログラム委員会の決定によりますので、ご希望に添えない場合もございます。

ステップ 2

仮審査を経て、学会事務局から仮会員承認のご案内と 2021 年度分の会費振込みのご案内を送りますので、5月21日(金)までにご入金をお願いします。それと同時に、「仮会員 ID とパスワード」をお送りしますので、大会報告申込システムにアクセスして報告を申込みことが可能になります。

※5月21日(金)までに会費が納付されなかった場合、すでに報告申込みを行っていても、それを無効とします。ただし、入会申込みは有効なので、遅れて会費を納付すれば、会員として大会に参加することはできます。

2.4 企画セッションを希望される方へ

企画セッションに応募される場合は、以下の点にご留意ください。システムの設定上、企画責任者が代表でお申込みください。

- ①企画セッションでは、企画責任者に 3~4 報告分の報告者と、座長・討論者の調整をお願いします。調整後、大会報告申込システムにて、セッションのねらい・構成・座長・報告者・討論者の氏名・連絡先・メールアドレスを入力してください。
- ②企画セッションについても、座長及び報告者全員が学会員でなければなりませんので、ご注意

ください。なお、討論者については、学会員でない方に務めていただくこともできます（その場合、システムでは非会員の氏名を登録できないので、学会事務局へご連絡ください）。非会員の討論者に対する学会からの交通費や宿泊費の支給はないことに、あらかじめご留意ください。

③プログラムの構成上、プログラム委員会の判断で企画セッションの申込をお断りすることがあります。その場合、ご希望があれば、企画セッション内で予定した報告を一般セッションに割り振ることができます。

2.5 申込後の留意点

※原則として申し込み後の報告取り消しは認めておりませんので、ご注意ください。

【セッションの編成に際して】

お申しいただいた情報に基づいて、プログラム委員会がセッションを編成します。申込内容に疑問点などがあった場合、プログラム委員会から申込者にお尋ねすることがあります。

【予定討論者の決定】

報告者からの希望を考慮しながら、大会プログラム委員会が予定討論者を依頼し決定します。報告者の希望した討論者にならない場合もありますので、あらかじめご了承ください。

【共同報告者について】

共同報告者は学会員のみです。非会員の方が共同報告者になる場合は、事前に入会申込（2.3の手続きに従ってください）を済ませてください。

非会員との共同研究の成果を報告する場合、プログラムに非会員の氏名を記載することはできません。

なお、大会向けにアップロードし、会員が「報告要旨閲覧システム」にログインして閲覧する報告要旨・報告論文については、著者名に非会員である共同研究者を含めることもできます。

ただし、『財政研究』へ投稿する論文の著者は会員のみです。その場合、脚注等に共同研究者の氏名を記載することはできません。

2.6 報告要旨、論文の提出等について

【報告要旨の提出】

7月中旬に大会ウェブサイトにて大会プログラムを掲載し、会員に対して一斉メールで掲載のお知らせを行います（報告内定者に対する個別のお知らせは行いません）。報告を申し込まれた方は、報告セッション・座長・討論者について、各自でご確認ください。また、プログラムに記載された氏名、所属、論文名などの表記を必ずご確認ください、誤りがある場合には学会事務局にお知らせください。

報告内定者は、8月20日（金）17:00までに、以下の様式で報告要旨を作成し、「大会報告申込システム」にアップロードしてください。期日に間に合わなかったものは「報告要旨閲覧シス

テム」掲載などの対象にならないので、ご注意ください。

- ① ファイル形式：Adobe PDF
- ② サイズ：A4判（縦）
- ③ 分量：一般セッション報告は2ページ以内。企画セッションは報告者数×2ページ以内。
- ④ ページレイアウト：
 - ・余白は天地左右すべて35mm
 - ・1ページあたりの行数・字数は37行×40字。文字のサイズは10.5ポイント。英文の場合は、行数のみを37行に指定。
 - ・フォントは原則としてMS明朝（和文）、Times New Roman（英文）。
 - ・1ページ目に、報告タイトル（12ポイント：MSゴシック）、その下に右寄せで、所属・氏名・メールアドレスを必ず記載（10.5ポイント） ※メールアドレスは会員に公開されません。

【報告論文の提出】

- ① 原則として、報告内定者は10月1日（金）17：00までに報告論文を「大会報告申込システム」にアップロードしてください。論文には、責任著者（Corresponding Author）のメールアドレスを必ず記載してください。
- ② 「大会報告申込システム」へのアップロードとは別に、座長・討論者に報告者自身で連絡を取り、10月1日（金）17：00までに論文を必ず送ってください。送付形式（郵送、メール添付）は、座長・討論者の指示に従ってください。

【報告要旨集・プログラム】

報告内定者によって「大会報告申込システム」にアップロードされた要旨及び論文は、大会2週間前から、会員による閲覧が可能となります。大会ウェブサイトよりアクセスしてください。プログラムは事前には送付しませんので、大会ウェブサイトにてご確認ください。（対面実施の場合には、大会参加者に、当日、会場受付にてプログラムなどをお渡しします。）

【学会奨励賞について】

日本財政学会では、大会の開催に合わせて学会奨励賞を授与しています。学会奨励賞は、報告者（及びすべての共同報告者）が大会1日目（10月23日）時点で満40歳以下の会員（通常会員・学生会員）である報告論文を対象として、優れた論文に授与されるものです。授与式は、大会1日目（10月23日）に行います。受賞者には賞状・副賞が授与されます。

学会奨励賞に応募する報告内定者は、本大会の報告申込時に「学会奨励賞に応募する」の項目にチェックを入れ、9月6日（月）17：00までに報告論文（フルペーパー）を「大会報告申込システム」へアップロードする形で提出してください。

3. 大会スケジュール概要

※分科会は、報告時間 20 分、討論 7 分、リプライ及び質疑応答 10 分となります。

10 月 23 日（土）

時間帯	
朝	理事会
午前	分科会 A
昼	昼食, 理事会
午後①	分科会 B
午後②	分科会 C
午後③	会員総会、懇親会（検討中）

10 月 24 日（日）

時間帯	
午前	シンポジウム
昼	昼食
午後	分科会 D

以上